

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.6	出入り口のドアは、閉めただけで鍵がかかる仕組みである。殆どの方は自分で簡単に開錠できる簡易なものであるが、抑圧感を与えている可能性がある。	利用者がいつ出入り口に行っても、鍵のかかっていない扉を自由に開けることができる。	鍵がかからないように、鍵部分を塞ぐ。 風邪が通る時間帯には開放する。	0ヶ月
2	No.35	地域は水害と土石流の危険区域であり、災害時を想定した避難訓練には地域の方々の協力が必要であるが、まだ、共同での訓練を行っていない。	毎月1回は自主防災訓練や研修を行い、半年に1回は地域の防災訓練に参加できる	1.既に選任されている防火管理者だけでなく、防災委員を選任し、ともに、立案、企画、運営をやっていく。 2.自治会の委員や消防団との連携をとっていく(8月に実施する地域自主防災訓練に参加予定)	10ヶ月
3	No.33	重度化した場合や終末期のあり方について、家族の意向が定まっておらず、職員の共通理解も不十分である	ホームの方針が決まり、職員の共通認識が十分に浸透し、利用者本人と家族の意向を受け止めていける。	1.職員の研修や学習会の参加の機会をつくる 2.往診医等、関係機関との具体的な連携を定める 3.家族とのカンファレンスの機会を増やす	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。